

平成 27 年度後期

授業科目：国際ロジスティクス

講義日程：11月13日（金）、20日（金）、27日（金）、12月4日（金）

担当教員：(株)ANA 総合研究所主任研究員 西村 剛 （11/13）

経営学研究科教授 正司 健一 （11/20 & 27）

経営学研究科准教授 三古 展弘 （12/04）

1. 本講義の概要

11月13日（金）、5時限「国際ロジスティクスⅠ（海運）」、6時限「国際ロジスティクスⅡ（空運）」

- ①2コマで国際ロジスティクスを代表する海運と空運ごとに、主に現状分析に立脚しながらも、各々の代表的なビジネスモデルと世界的な企業例も解説します。
- ②セッション1では、海運と空運に共通する簡単な貿易理論や3PL、SCMなど専門用語の定義を行います。さらに、現在の海運の実績やパナマ運河拡張など喫緊の課題も取り上げます。
- ③セッション2では各国のオープンスカイ政策を含む国際航空の仕組みから始まり、航空物流の最前線まで幅広く取り上げます。特にインテグレーターと呼ばれるビジネスモデルの世界的な代表企業であるFedExについて、歴史的な発展過程も含めて詳細に事例研究します。

なお、講義の際には教室で検索が可能なパソコン類をお持ちください。専門用語などは随時検索してその場で理解ください。用いるのは簡単な数式のみで基本的には文章で解説する予定です。

11月20日（金）、5時限「交通・物流サービスの特性と規制政策」、6時限「規制政策と企業行動」

- ①2コマで交通・物流サービスの特性と、これに起因する規制政策について、理論的背景を紹介するとともに、現実の動きを解説します。
- ②セッション1では、交通・物流サービスの性質、その生産構造、そして価格規制や参入規制の議論のエッセンスを解説します。
- ③セッション2では、近年の規制緩和の動きに対する理論的背景やその効果の研究成果の紹介を行いながら、今後の展開について議論します。

11月27日（金）、5時限「交通サービスの民間供給」、6時限「私鉄の経営戦略について」

- ①2コマで交通企業のビジネスモデルにかかわる議論を行っていきます。基本的に取りあげるのは都市（地域）旅客輸送を本文にしている私鉄です
- ②セッション1では、交通サービスの民間供給をめぐる世界的な議論、とらえ方を簡単に紹介した後、わが国独特の発展を遂げてきた私鉄のビジネスモデルを検討します。
- ③セッション2では、（大手）私鉄の多角化戦略を中心に事例研究します。

12月4日（金）5時限「交通現象の理解」、6時限「交通現象の分析」

- ①交通に関する現象を理解することを目的とします。データからだけでは分かりにくい交通特有の、そして、マーケティングなど他の分野にも適用できる話題を議論します。
- ②セッション1では、交通に関する調査について説明します。
- ③セッション2では非集計離散選択モデルについて説明します。

2. 主な参考文献

- 『日本物流業のグローバル競争』宮下國生、2004年、千倉書房
『現代物流の基礎』森隆行、2013年、同文館出版
『国際航空輸送の経済学』中西ほか訳, Rigas Doganis、1995年、成山堂書店
『都市公共交通政策』正司健一、2001年、千倉書房
『スティグリッツ入門経済学』藪下ほか訳、Joseph E. Stiglitz 2012年、東洋経済新報社
『ミクロ経済学 | 第2版』伊藤元重、2009年、日本評論社
『交通経済ハンドブック』日本交通学会編、2011年、白桃書房

そのほか、必要に応じて適宜、紹介します。

3. その他

村上英樹教授の急逝に伴い、本年度の講義は上記3名の講師で行うことになりました。
配付資料等については適宜対応する予定です。

以 上